

NEWS RELEASE

新 発 売

独自の色再現技術と1億画素ラージフォーマットセンサーによる、豊かな階調表現と立体感ある描写を実現

映像制作用カメラ「FUJIFILM GFX ETERNA 55」

約2.0kgの軽量ボディにより撮影時の機動性を確保、
映像の色味やトーンを統一的に管理し、撮影から編集までの効率的な映像制作環境を提供

2025年9月11日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、当社初の動画専用機となる映像制作用カメラ「FUJIFILM GFX ETERNA 55」（以下、「GFX ETERNA 55」）を2025年10月下旬より発売します。

「GFX ETERNA 55」は、35mm判の約1.7倍となる対角約55mmの1億画素ラージフォーマットセンサー※¹「GFX 102MP CMOS II HS」と高速画像処理エンジン「X-Processor 5」を搭載した映像制作用カメラです。「GFX ETERNA 55」は、豊かな階調表現と立体感のある映像表現に加え、当社が創業以来90年以上にわたり培ってきた色再現技術によって、より多彩な映像表現を実現します。



「FUJIFILM GFX ETERNA 55」



「フジノンレンズ GF32-90mmT3.5 PZ OIS WR」装着時

「GFX ETERNA 55」は、横43.8mm x 縦32.9mmと映像制作用カメラとして世界で最も縦方向に長い※²ラージフォーマットセンサーを採用しており、制作現場ではフルサイズやSuper35mmフォーマットを凌駕するイメージサークル※³を保持します。そのため、対角55mmラージフォーマットセンサーをフルに活かした4:3オープンゲート撮影ができる「GF」フォーマットや、「Premista」「35mm」「アナモフィック(35mm)」 「Super35」の全5種のシネマフォーマットが選択できます。同梱する「PLマウントアダプター G」などのマウントアダプターを装着することで、レンズ選択の幅が広がり、映像制作者の意図に応じた画づくりをサポートし、多様な映像表現を追求できます。

また、当社デジタルカメラ「X/GFXシリーズ」でご好評いただいている、写真フィルムを交換する感覚で様々な色調表現ができる当社独自の「フィルムシミュレーション」を搭載。ハリウッドなどの映画製作の第一線で活躍した往年の名撮影監督が愛したシネマリックをデジタルで表現した映画用カラーネガフィルム「ETERNAシリーズ」など、全20種類のフィルムシミュレーションを、映像制作で使用できます。また、映像の色情報を定義したデータファイル、LUT(Look Up Table)を最大

16個読み込むことができ、撮影からポストプロダクションまで統一感のある色の管理が可能となり、効率的な映像制作環境を提供します。

「GFX ETERNA 55」は映画やドキュメンタリー、コマーシャル、ミュージックビデオなど様々なジャンルにおいて、ラージフォーマットセンサー特有の魅力を活かした階調豊かで立体的な映像表現と、豊富な情報量を活かした編集耐性の高さにより、映像制作の現場に新たな価値を提供します。

- ※ 1 対角線の長さが54.8mm（横43.8mm×縦32.9mm）で、35mm判の約1.7倍の面積を持つイメージセンサー。
- ※ 2 2025年9月11日現在。シネマ用途向けに市販されている映像制作用カメラと比較。（富士フイルム調べ）
- ※ 3 レンズを通った光が結像する円形の範囲のこと。

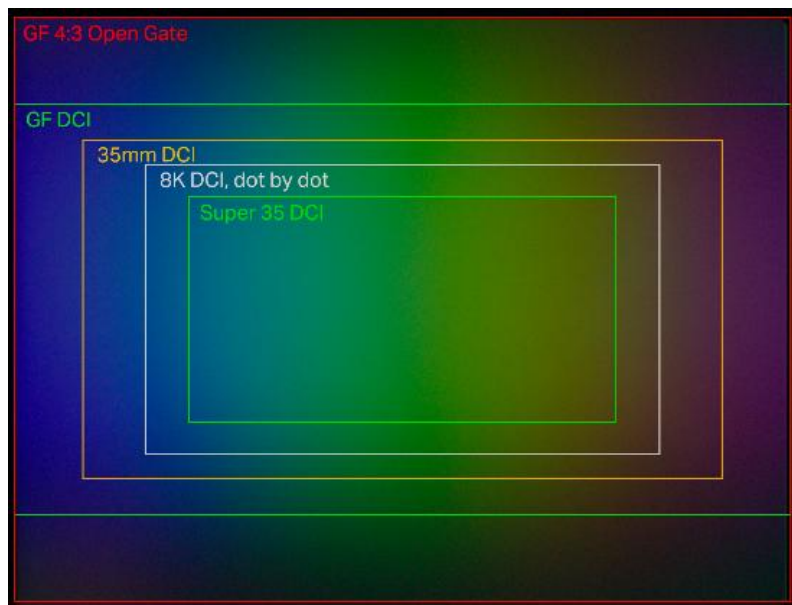
1. 製品名、発売日、価格

製品名	発売日	希望小売価格
映像制作用カメラ 「FUJIFILM GFX ETERNA 55」	2025 年 10 月下旬	オープン

2. 「FUJIFILM GFX ETERNA 55」の主な特長

(1) 44 x 33 ラージフォーマットセンサーが生み出す革新的な映像表現

- ・ 1 億 2 百万画素ラージフォーマットセンサー「GFX 102MP CMOS II HS」を搭載。G マウントレンズによる「GF」に加え、同梱する「PL マウントアダプター G」を装着することで、「Premista」「35mm」「アナモフィック(35mm)」「Super35」の全 5 種のシネマフォーマットに対応し、様々なレンズが選択でき、多様な映像表現が可能になります。幅 43.8mm、高さ 32.9mm、対角 54.8mm の大きなイメージサークルの利点を最大限活用した、最大 48fps の 4:3 オープンゲートフォーマットでの撮影も可能です。



GFX ETERNA 55で撮影可能な記録フォーマット

- ・ ラージフォーマットセンサーに対応した世界初^{※4}の「電子式可変 ND フィルター」を搭載。緻密な制御手法を確立し、動画撮影中に ND0.6～ND2.1(0.015 段刻み)のシームレスな濃度コントロールが可能。
- ・ 当社のラージフォーマットセンサーに最適化したモアレや偽色を低減する 4 点分離方式を採用した新たな光学ローパスフィルターを採用。
- ・ ISO800 と ISO3200 の 2 つの基準 ISO 感度を持つ「DUAL BASE ISO」を搭載。極端に明るい場所や暗い場所といった過酷なライティング環境下でも自動で基準 ISO 感度が切り替わり、ノイズを抑えたクリアな映像を撮影できます。

※4 2025年9月11日調べ。対角線の長さが54.8mm（横43.8mm×縦32.9mm）で、35mm判の約1.7倍の面積を持つイメージセンサー搭載のデジタルカメラにおいて。（富士フイルム調べ）

(2) 撮影から編集までをサポートする F-Log とフィルムシミュレーション 3D LUT

- ・ダイナミックレンジ 14+stop の「F-Log2」, 「F-Log2 C」を搭載。センサーサイズの大きさを活かした階調豊かな映像を記録することが可能となり、ポストプロダクションでの自由度が向上します。
- ・多彩なルックによる映像表現を可能とする「フィルムシミュレーション」を全 20 種類搭載。さらに、Log 撮影(F-Log2/F-Log2 C)した映像の色味やトーンを緻密に調整できる 10 種類のフィルムシミュレーション変換 3D-LUT(ITU-R BT.709 準拠)を使用可能です。開発発表時に公表した「ETERNA」と「ETERNA BREACHBYPASS」に加え、「PROVIA/スタンダード」「Velvia」「ACROS」など計 10 種類の 3D-LUT を WEB 上からダウンロードし使用できます。
- ・フィルムシミュレーション 3D LUT を含む 16 種類の 3D LUT を「GFX ETERNA 55」に保存、好みのルックを見ながらの撮影が可能です。

(3) 様々な Codec 対応と省力化を実現するワークフロー・ソリューション

- ・3つのApple ProRes^{※5}コーデック (Apple ProRes 422 HQ・Apple ProRes 422・Apple ProRes 422 LT) に対応。Apple ProRes撮影時にはApple ProRes 422 Proxy等のプロキシ撮影も可能です。全5種のCodecに対応し、動画の編集負荷を軽減、撮影からポストプロダクションまでワークフロー全体を効率化/省力化することができます。
- ・HDMI経由で4:2:2 10bit非圧縮RAWデータ出力に加え、最大8K/30P 12bitのRAWデータ出力が可能です。
- ・クラウドサービスFrame.io Camera to Cloudに対応。「GFX ETERNA 55」をインターネットに接続することでApple ProRes 422 Proxy ファイルなど多様な動画ファイルを直接Frame.ioへアップロードできます。撮影地から離れた場所にいる編集チームと動画ファイルを即時に共有でき、撮影から編集までのワークフローが飛躍的に効率化されます。

※5 Apple ProResは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

(4) 少人数撮影を意識した機能性と操作性を誇る小型・軽量ボディ

- ・少人数やワンマンでの撮影にも対応できるよう、ボディ重量は約 2.0kg と軽量化を追求。また、複数人が同時にカメラの設定変更や確認を行えるようボディの両側面に 3 インチの液晶モニターを配置しました。
- ・カメラ前面部と同梱ハンドルにフジノン G マウントレンズの「フォーカス」「ズーム」「アイリス」がコントロール可能な「マルチファンクションダイヤル」を配置。また設定を「ND」にするとダイヤルコントロールによる「電子式可変 ND フィルター」の緻密な濃度調整が可能となります。



緻密なコントロールが可能なマルチファンクションダイヤル



同梱のハンドルで様々な撮影コントロールが可能

- ・ 最大 2000nit の明るい 5 インチ外付け LCD モニターを同梱。晴天の屋外でも撮影中の映像を鮮明に表示できます。タッチ操作が可能な LCD モニターは、カメラに装着できる箇所を複数設け、角度調整もしやすいため、撮影環境に応じて自在にモニターを配置でき、快適な撮影をサポートします。



最大2000nitの明るさを誇る視認性の高い5 インチ 外付けLCDモニター

- ・ カメラ本体に大容量バッテリー「NP-W235」が装填できる電池ボックスを配置しました。これにより、外付けバッテリーなしでも最大 30 分間の撮影が続けられます。また、外付けバッテリーを交換する際には、「NP-W235」から電力が供給されるため、カメラを再起動させることなくバッテリー交換ができる「ホットスワップ」※6に対応します。
- ・ CFexpress™ Type B カード※7 と SD カードに対応したデュアルスロットを採用。高速書き込みが可能な CFexpress™ Type B カードの使用により、「GFX ETERNA 55」で撮影可能な様々な動画フォーマットやビットレートに対応した映像記録が可能です。※8

※6 動画記録中は動画記録が自動で中断されます。

※7 CFexpress は、The CompactFlash Association の商標または登録商標です。

※8 動作確認済カードは当社ウェブページをご確認ください。

【関連情報】

FUJIFILM GFX ETERNA 55 製品映像 : <https://www.youtube.com/watch?v=rk9RHViSywY>

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【お客さま】

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL : 0570-04-1060

製品に関するお問い合わせフォーム

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/business/cine-and-broadcast/gfx/filmmaking/gfx-eterna55-contact>

「フジノン X マウント & G マウントレンズ」ラインアップ

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/lenses/>